

たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

2月定例会チバテレ **3** 生中継!!

チャンネル

自民党代表質問

滝田敏幸県議

2月14日(火) 10:00~



令和3年2月県議会で発言する滝田県議

是非ご覧ください!

新年度予算を審議する2月定例会県議会・自民党代表質問に34度目の登壇が決定。将来を見据えた「千葉県づくり」から北総鉄道の経営安定化、印西市への新児童相談所設置、北千葉道路整備促進ほか地元課題まで幅広いテーマを取り上げます。

千葉県議会随一の論客として活躍する滝田敏幸県議(4期)は、自民党(千葉県連) 政調会長に就任。

県政を動かす!

自民党新政調会長としての手腕に期待

北総・通学定期大幅値下げ実現!

大幅な運賃値下げが実現しました!

通学定期運賃の大幅値下げ

子育て世代への配慮や若い世代の入居促進に繋がるよう、家計への負担の大きい通学定期運賃については、大幅な値下げを実施。

【例：通学定期運賃 京成高砂～印西牧の原駅間】

現行	改定後	値下げ額
1ヶ月定期 14,990円	4,990円	▲10,000円
6ヶ月定期 80,950円	26,950円	▲54,000円

値下げ率

運賃改定実施日

定期外	定期		合計
	通勤	通学	
▲11.6%	▲13.8%	▲64.7%	▲15.4%

**2022年
10月1日(土)**

滝田敏幸PROFILE

- 1960年 印西町大森生れ
大森小、印西中
県立我孫子高校
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議会当選(2期)
- 2007年 千葉県議会当選(4期)
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2010年 総合企画常任委員長
- 2011年 千葉県ラグビー協会会長
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2016年 農林水産常任委員長
- 2021年 千葉県監査委員
- 2022年 自民党(千葉県)政調会長

県議会報告・討議資料

たきた敏幸事務所



住所：印西市木下1521 電話：0476-37-4689

毎日更新中・ブログと県議会動画もご覧下さい。

滝田敏幸

検索

<https://www.takinowa.com/>

更なる北総値下げへ全力!!

2007年の初当選以来、北総鉄道運賃値下げに取組み、国・県・沿線市や鉄道会社へ働き掛け、結果を出した滝田県議。

2010年には5年で30億円の北総値下げ補助スキーム、2014年からの国・県・沿線6市「耐震補強工事」支援スキームで汗を流した。

短期的には北総鉄道の経営安定化を最優先とするが、今後も更なる運賃値下げへ向けての挑戦は続く。



北総鉄道・都心直結線特集

都心直結線(H30)

国・県・東京都三者協議を要請

東京都と協議を

滝田議員 都心直結線の事業を進めるにあたり、関係自治体である東京都との協議を積極的に進めるべきと思うがどうか。

総合企画部長 都心直結線の整備については、県としても国策で実現するよう要望しているところですが、都内を通る路線であることから、議員御指摘のとおり、東京都との協議は必要であると考えております。今後、具体的にどのような協議を行うか検討してまいります。



滝田議員 都心直結線が実現すれば、都心から成田空港へのアクセスが改善され、東京都民にとっても利便性が向上する話なので、東京都の理解が得られるようあらゆる方面から努力することが必要だと思う。そして、最後は県知事と都知事のトップ同士による政治判断になってくると思うので、実現に向けた検討

が進んだ暁には、ぜひ知事の御英断をお願いしたい。



北総鉄道室谷社長と面談する滝田県議。地域経済活性化について意見交換。

北総鉄道&成田線の利便性向上 更なる運賃値下げへの取り組み

- 北総線の東京駅乗り入れ＝都心直結線の具体化へ向けた、国・県・都の協議会設置を推進。
- 北総線の耐震補強及びホームドア事業の推進。
- 地元沿線6市、県、鉄道事業者との活性化協議会を推進。
- JR成田線の利便性向上。北総線との交差点への乗換駅設置を要望。

県への要望 (H29)

現在、地元9市町、県、国、NAAによる四者協議会において、第3滑走路整備など、成田空港の機能強化に関する議論・検討が進められているところだが、第3滑走路の整備効果を最大限発揮させるためには、成田空港から都心へのアクセスを更に向上させる都心直結線構想の実現が千葉県にとって悲願であると考えている。

そのためには、都心直結線構想の実現について、森田知事から、国に対し、強く働きかけていただくよう要望する。

北総スキーム再構築を提案 (H28)

滝田議員 北総鉄道の将来の運賃値下げについて鉄道事業者、地元6市、県による協議の場を設けるべきと思うがどうか。

総合企画部長 平成27年1月の「北総線の運賃値下げに係る確認書」において、運賃問題に関し、新たな事由が生じた場合には、関係者間で協議を行うとともに、北総線沿線地域活性化協議会を設置し、沿線地域の活性化に取り組むこととしております。

北総鉄道の経営安定化に関する見直しなどの諸条件を総合的に勘案し、協議が必要であると判断される場合には、このような場の活用を図ってまいります。



滝田議員 白井・印西の両市長による、これまでの補助金スキームの終了は、結果として、

鉄道事業者との交渉を難しくした。ただ、県として都心直結線構想を進めるといったカードを持つて、中長期的視点から協議の場を設け、鉄道事業者との交渉で、値下げに向けた連立方程式を組み立てていくことは可能と考える。

私は、住民運動の理屈で、「高いから値下げしろ」という主張はしない。そもそも、この鉄道は成田新幹線として国策により整備されるはずだった鉄道であり、結果的にP線方式の整備となり、受益者負担原則のもと、沿線在住の県民が日本一高い運賃を払い続けている。

ここは、政府の成長戦略に基づく都心直結線という大きな物語、プロジェクトの中で、是非とも北総の運賃問題の解決に取り組んで頂くことを要望する。